

令和6年度事業報告について

令和6年度は、第三次中期基本計画の初年度にあたり、本計画で取り上げた、会員、就業拡大、安全・適正就業、組織運営、経営健全化、デジタル化の推進を重点項目として掲げ事業運営に取り組みました。

会員拡大に向けては、入会促進コーディネーターによる市民の方へのPR活動、定例入会説明会と出張入会説明会の開催数を充実し、入会機会を増やすことに取り組みました。しかし、会員数は前年度から48人減少となりました。

就業拡大については、受託事業実績で前年度から321万3,102円減少となりました。これは昨年9月で閉店された大手小売店との契約終了が影響したもので、当初から想定していたものとなります。

一方、派遣事業では前年度から1,039万9,069円増と大幅な事業実績の拡大を達成したところで、順調な就業拡大が図れました。

安全・適正就業については、千葉県シルバー人材センター連合会や千葉県労働局の指導にも従いながら自主点検を進め、疑義のある業務内容については、発注者と協議し、契約方法や業務内容の見直しを行うなど取り組みを行いました。

組織運営においては、第三次中期基本計画で取り上げた課題を専門部会、委員会で検討を進めました。この計画の中で女性会員の拡大等を専門的に取り扱う女性部会の立ち上げについて議論してきましたが、事業部会の所掌業務の中で取り扱えるものとして意見がまとまり、立ち上げは見送ることとなりました。

経営健全化とデジタル化の推進に向けた取り組みでは、物価等の高騰を受け、デジタルデータを中心とした情報発信への切り替えを進めました。会員専用サイト Smile to Smile の本格運用やホームページの充実を図り、委託費の大幅コストカットと通信運搬費の費用圧縮を達成し、デジタル化の第一歩を進めたところです。

令和6年度事業計画で取り上げた各種取り組みや施策の実施状況につきましては、以下の通りとなります。

1. 会員

- (1) 会員主体のサークル活動や会員交流行事により就業以外の交流機会の場を増やし入会促進と退会抑止を図る取組みを実施しました。サークル数は前年度から増減はなく 1 サークルによる活動に留まりました。また、会員交流行事は、パークゴルフ大会を企画したものの参加者数が定数に至らず中止となりました。
- (2) 定例会説明会を 36 回、出張入会説明会を 12 回実施しました。例年通りに実施したのですが、入会者数は 93 人で前年度から 25 人減（118 人→93 人）の結果となりました。また、出張入会説明会で申込者数は 30 名で、こちらも前年度から 3 人減（33 人→30 人）の結果となりました。なお、参加者が 0 人のケースもあり、入会説明会の開催方法が課題となる結果となりました。
- (3) 出張入会説明会の内、女性に限定した入会説明会を 2 回開催しました。延べ 16 名の参加があり、7 名の入会申込みがありました。
- (4) 入会説明会に参加したが入会申込みに至らなかった方への意向確認の実施は、定款変更を機に、個人情報の取得は入会申込みされた方に限定するように変更しました。このため、申し込みに至らなかった方に対する意向確認は実施しませんでした。
- (5) 入会促進コーディネーター 2 名による PR 活動や勧誘活動を実施しました。活動の中心となった女性交流会「夢の輪」では、一般市民の方への参加を精力的に呼びかけ、シルバー人材センターを知るきっかけとなる活動にあたりました。

2. 就業

- (1) 令和 6 年 11 月 1 日から施行された「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）」の法の趣旨に対応した契約方法の見直し（包括契約）を令和 7 年 4 月から進めることを決議し、規約の整備、取引先への交渉などに取り組みました。令和 7 年度の契約更新にあたっては、取引先のご理解もあり、民間事業所等で継続契約 153 件中 136 件が包括契約へ移行することができました。また、公共契約においては、習志野市の全面的なご協力もあり、全ての継続契約で包括契約へ移行

することができました。

- (2) 家事支援の一環となるハウスクリーニング事業を新規事業として立ち上げ、令和6年度は5件の実績となりました。
- (3) 入会を前提とした市民向け剪定講習会を開催し、人材不足の解消に努めました。講習会には、8名の参加があり3名の方の入会申込みとなりました。また、会員を対象とした襖・障子張替え講習会を企画し募集しましたが、参加者が集まらず開催には至りませんでした。
- (4) 派遣事業を推進し、受注件数で前年度から6件（59件→65件）の増加を達成しました。
- (5) 千葉県シルバー人材センター連合会と連携し、就業拡大に努めました。

3. 安全・適正就業

- (1) 安全管理委員会による就業先の安全巡回指導を4回実施しました。
また、各種会議の場や機関誌にて健康や安全に関する啓発を行いました。
- (2) 厚生労働省・全国シルバー人材センター事業協会が作成した「適正就業ガイドライン」を新規入会者や新規発注者に対して周知し、新規受注にあたっては、コンプライアンスを重視した適正な契約締結に努めました。

4. 組織運営

- (1) 総務部会：会員交流行事の企画や、財政基盤の安定・経営の健全化について議論しました。
事業部会：単発受注の単価改定や女性部会（仮称）の立ち上げについて議論しました。
広報部会：生きがい通信の校正や、令和7年度からの生きがい通信のあり方について議論しました。
安全管理委員会：安全標語の募集・選考や安全巡回指導を実施しました。
- (2) 新規就業会員を中心とした接遇・ハラスメント防止・コンプライアンス研修会を実施しました。
- (3) 会員主体のサークル活動や会員交流行事により就業以外の交流機会の場を増やし入会促進と退会抑止を図る取組みを実施しました。サークル数

は前年度から増減はなく 1 サークルによる活動に留まりました。また、会員交流行事は、パークゴルフ大会を企画したものの参加者数が定数に至らず中止となりました。

- (4) 地域貢献活動として、フィットネスクラブと連携した健康増進イベントを市民も対象に拡げて開催し、20名の参加がありました。
- (5) 理事と地区委員を中心としたボランティア活動の実施や理事と地区委員による理事会報告会を実施し、会員主体の自主的な地区運営を支援しました。
- (6) 女性会員の活動の活発化と女性視点の会員拡大策や就業開拓策を取り入れることを目的とした女性部会（仮称）の立ち上げについて、事業部会で前年度から継続して審議してきましたが、新たな部会の立ち上げではなく、事業部会の所掌業務の中でこれら活動を進めていくことで結論に至りました。
- (7) ふるさと納税として海浜霊園のお掃除代行業を提供し、15件の作業にあたりました。

5. 経営健全化

- (1) デジタル化によるコスト削減など費用削減を進めました。
- (2) Smile to Smile など電子媒体による書類の送付を進め、送料や物価の高騰に呼応したコスト管理を実施しました。
- (3) フリーランス法の施行や契約方法の見直しによる書類整備において、デジタル活用を徹底し、経費の節減に努めました。

6. デジタル化の推進

- (1) Smile to Smile の本格運用に向け、機関誌での案内や登録会を開催するなど登録を呼びかけました。年度当初には18%（144人）だった登録者数は年度末で64%（483人）に達しました。
- (2) ホームページへの公開情報や更新頻度を増やし充実を図りました。
- (3) スマートフォン講座を4回開催し、高齢者へのデジタル普及促進の一助に努めました。参加者数は計38名でした。